

ロボット・テクノロジー 関連株ファンド ーロボテックー

運用報告書（全体版） 第15期

（決算日 2023年3月13日）

（作成対象期間 2022年9月14日～2023年3月13日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界のロボット関連企業の株式に投資し、値上がり益を追求することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2015年12月7日～2025年9月12日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ. アクサIM・グローバル・ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）の受益証券 ロ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネースtock・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC World指数 (配当込み、円換算)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
11期末(2021年3月15日)	17,516	1,900	24.2	16,664	23.4	—	99.5	218,511
12期末(2021年9月13日)	17,909	1,900	13.1	18,568	11.4	—	99.6	235,993
13期末(2022年3月14日)	15,255	0	△14.8	18,016	△ 3.0	—	98.7	221,278
14期末(2022年9月13日)	16,605	0	8.8	21,047	16.8	—	99.2	242,805
15期末(2023年3月13日)	15,615	400	△ 3.6	19,567	△ 7.0	—	97.9	221,765

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCI AC World 指数 (配当込み、円換算) は、MSCI Inc. (「MSCI」) の承諾を得て、MSCI AC World指数 (配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World指数 (配当込み、米ドルベース) は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。 (<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>)

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

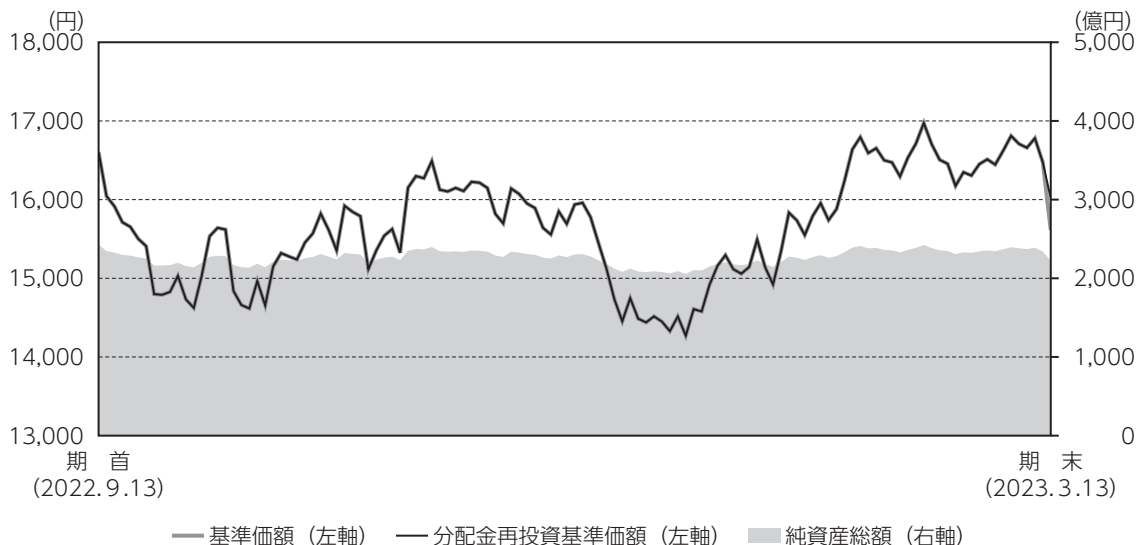
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含まず。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

期首：16,605円

期末：15,615円（分配金400円）

騰落率：△3.6%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は、日本を含む世界のロボット関連企業の株式に投資した結果、保有銘柄の株価はおおむね横ばいでの推移となりましたが、主として米ドルに対して円高が進行したことがマイナス要因となり、下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ロボット・テクノロジー関連株ファンド -ロボテック-

年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC World指数 (配当込み、円換算) (参考指数)		公 社 債 組 入 比	投 資 信 託 受 組 証 券 入 入 率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2022年 9月13日	16,605	% -	21,047	% -	% -	% 99.2
9月末	14,733	△11.3	18,934	△10.0	-	99.1
10月末	15,922	△ 4.1	20,482	△ 2.7	-	99.1
11月末	15,697	△ 5.5	20,156	△ 4.2	-	98.3
12月末	14,515	△12.6	18,973	△ 9.9	-	97.5
2023年 1月末	15,739	△ 5.2	19,795	△ 5.9	-	98.9
2月末	16,451	△ 0.9	20,289	△ 3.6	-	99.4
(期末) 2023年 3月13日	16,015	△ 3.6	19,567	△ 7.0	-	97.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

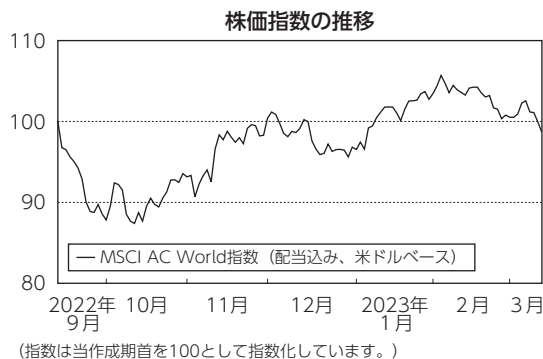
投資環境について

(2022.9.14~2023.3.13)

■グローバル株式市況

グローバル株式市況は横ばいでの推移となりました。

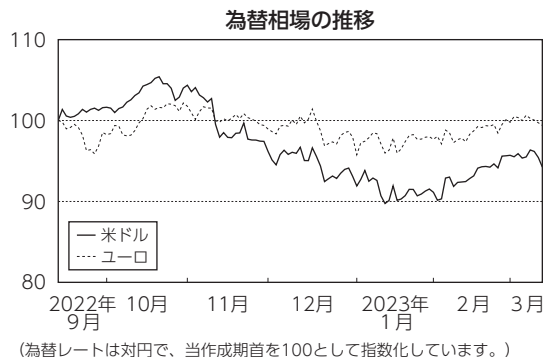
グローバル株式市況は、当作成期首より、米国の予想以上のインフレ率の上昇や英国の財政悪化懸念などで欧米の金利が上昇したこと、欧米企業の業績見通しの下方修正が相次いだことなどが嫌気され、2022年10月半ばにかけて下落しました。その後は、英国市場の混乱が収束して欧米の金利上昇が一服したことや、F R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げペースの減速が期待されたことなどが好感されて上昇に転じました。当作成期末にかけては、予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことなどから、株価は下落しました。



■為替相場（米ドル／円、ユーロ／円）

米ドル円相場は下落（円高）しました。

米ドル円相場は、当作成期首より2022年10月半ばにかけて、日米金利差が意識されたことで円安米ドル高となりました。その後は、インフレ率の低下期待などから米国金利が低下したことで日米金利差の縮小が意識されたことに加えて、日銀が想定外の政策修正を行ったことで金融緩和政策の転換などが意識され、日本の長期金利が大きく上昇するとともに円高米ドル安が進行しました。2023年2月には、堅調な米国の経済指標を受けて米国金利が大きく上昇したことで、円安米ドル高に転じました。



ユーロ円相場は横ばいでの推移となりました。

ユーロ円相場は、E C B（欧州中央銀行）の利上げにより日欧の金利差が拡大したことが円安ユーロ高要因となりました。一方で、日銀の金融緩和政策の転換が意識されたことなどが円買い材料となったこともあり、一進一退での推移となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）：アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

■ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場のさまざまなロボット関連産業の企業に投資を行います。「作る」では、ロボット産業におけるリーディングカンパニーに加え、製造工程を監視制御するシステムを開発する企業などに注目しています。「運ぶ」では、自動運転の実現を可能とするソフトウェアや半導体企業に注目しています。「助ける・守る」では、ロボット外科手術などを手掛ける企業などに注目しています。

グローバル経済は徐々にコロナウイルスの影響から立ち直り、本格的な回復局面へと向かう中、引き続き、ヘルスケア、自動車、テクノロジー、物流など幅広い分野でロボット関連技術の導入が加速すると考えられます。今後も、将来的な成長期待の高いロボット関連産業の企業に投資を行うことで中長期的な信託財産の成長をめざしてまいります。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2022.9.14~2023.3.13)

■当ファンド

当ファンドは、ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）とダイワ・マネースtock・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期を通じて、ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）を高位に組み入れました。

■ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは、「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場のさまざまなロボット関連産業の企業に投資を行い、信託財産の成長をめざしました。企業規模の面ではアマゾン・ドット・コムやキーエンスのような大型株からシリコン・ラボラトリーズやグローバスメディカルなどの中小型株にも幅広く投資しました。地域別ではロボット関連産業の技術革新において先進的な地域である米国、日本を中心に投資しました。

当作成期は、株価が割安な水準にあった産業自動化ビジネスに強みを持つ三菱電機や倉庫自動化ソリューションを提供する米国のゼブラ・テクノロジーズを新規に組み入れました。また、下落局面を捉えて、高性能半導体大手のエヌビディアを買増ししました。一方で、ジョンソン・エンド・ジョンソンにより約50%のプレミアム（発表前の株価対比）で買収されると発表されたことを受けて人工心臓メーカーのアビオメッドを全売却しました。

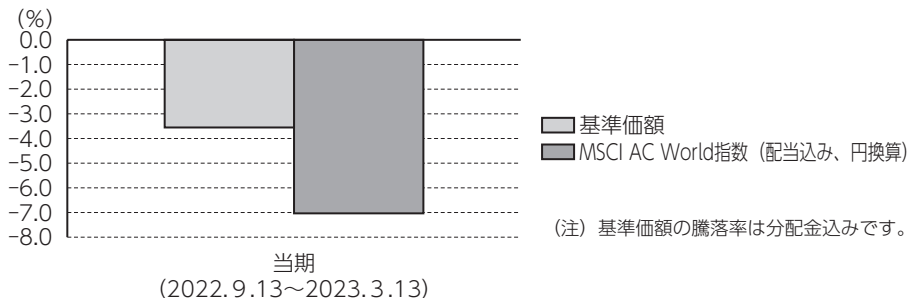
■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳(1万口当り)

項目	当期	
	2022年9月14日	2023年3月13日
当期分配金(税込み)	(円)	400
対基準価額比率	(%)	2.50
当期の収益	(円)	-
当期の収益以外	(円)	400
翌期繰越分配対象額	(円)	6,700

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程(1万口当り)

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	0.00円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	4,116.56
(d) 分配準備積立金	✓ 2,983.94
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	7,100.50
(f) 分配金	400.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	6,700.50

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場のさまざまなロボット関連産業の企業に投資を行います。「作る」では、ロボット産業におけるリーディングカンパニーに加え、製造工程を監視制御するシステムを開発する企業などに注目しています。「運ぶ」では、自動運転の実現を可能とするソフトウェアや半導体企業に注目しています。「助ける・守る」では、ロボット外科手術などを手掛ける企業などに注目しています。

当ファンドで注目する長期的な成長テーマとその投資機会は、引き続き強固であると考えています。今後も、実績の高い事業モデルを有し、大きなビジネスチャンスがあり、経営が強固な企業を選別することに注力していく方針です。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2022.9.14~2023.3.13)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	96円	0.614%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は15,658円です。
(投 信 会 社)	(30)	(0.191)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(64)	(0.409)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.000	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	96	0.614	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

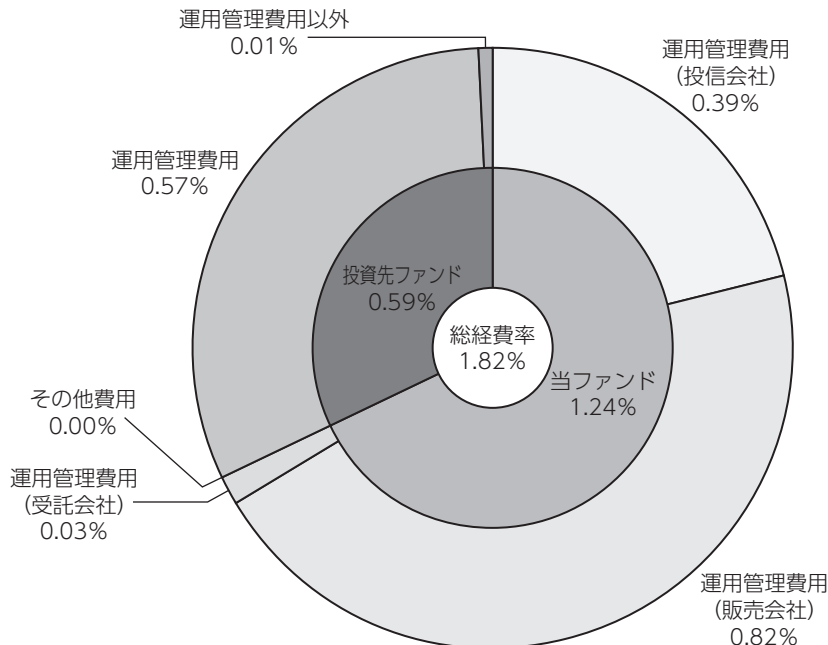
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.82%です。



総経費率 (①+②+③)	1.82%
①当ファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.57%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2022年9月14日から2023年3月13日まで)

		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
		千□	千円	千□	千円
国内	アクサIM・グローバル・ロボット関連株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	1,437,439.495	3,370,000	7,903,626.954	19,780,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券	千□	千円	%
アクサIM・グローバル・ロボット関連株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	86,637,193.817	217,190,781	97.9

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	当 期 末		
	期 首	□ 数	評 価 額
	□ 数	□ 数	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	947	947	947

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年3月13日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	217,190,781	94.6
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	947	0.0
コール・ローン等、その他	12,414,487	5.4
投資信託財産総額	229,606,215	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年3月13日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	229,606,215,766円
コール・ローン等	12,414,487,035
投資信託受益証券(評価額)	217,190,781,179
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	947,552
(B) 負債	7,840,407,296
未払収益分配金	5,680,726,492
未払解約金	770,940,968
未払信託報酬	1,387,645,147
その他未払費用	1,094,689
(C) 純資産総額(A - B)	221,765,808,470
元本	142,018,162,304
次期繰越損益金	79,747,646,166
(D) 受益権総口数	142,018,162,304□
1万口当り基準価額(C / D)	15,615円

* 期首における元本額は146,227,522,839円、当作成期間中における追加設定元本額は5,981,444,753円、同解約元本額は10,190,805,288円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は15,615円です。

■損益の状況

当期 自2022年9月14日 至2023年3月13日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 715,934円
受取利息	29,028
支払利息	△ 744,962
(B) 有価証券売買損益	△ 6,421,816,876
売買益	881,708,725
売買損	△ 7,303,525,601
(C) 信託報酬等	△ 1,388,739,836
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 7,811,272,646
(E) 前期繰越損益金	26,966,430,881
(F) 追加信託差損益金	66,273,214,423
(配当等相当額)	(52,759,971,033)
(売買損益相当額)	(13,513,243,390)
(G) 合計(D + E + F)	85,428,372,658
(H) 収益分配金	△ 5,680,726,492
次期繰越損益金(G + H)	79,747,646,166
追加信託差損益金	66,273,214,423
(配当等相当額)	(52,759,971,033)
(売買損益相当額)	(13,513,243,390)
分配準備積立金	36,696,660,178
繰越損益金	△23,222,228,435

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	58,462,657,897
(d) 分配準備積立金	42,377,386,670
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	100,840,044,567
(f) 分配金	5,680,726,492
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	95,159,318,075
(h) 受益権総口数	142,018,162,304口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)

400円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

<補足情報>

当ファンド（ロボット・テクノロジー関連株ファンド（ロボテック））が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2022年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2023年3月13日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄

2022年9月14日～2023年3月13日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2023年3月13日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第13期 (決算日 2022年12月9日)

(作成対象期間 2021年12月10日～2022年12月9日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

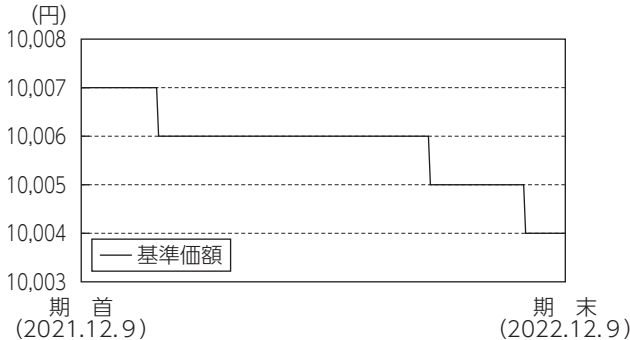
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		公社債 組入比率
	円	騰落率	
(期首)2021年12月9日	10,007	-	-
12月末	10,007	0.0	-
2022年1月末	10,007	0.0	-
2月末	10,006	△0.0	-
3月末	10,006	△0.0	-
4月末	10,006	△0.0	-
5月末	10,006	△0.0	-
6月末	10,006	△0.0	-
7月末	10,006	△0.0	-
8月末	10,005	△0.0	-
9月末	10,005	△0.0	-
10月末	10,005	△0.0	-
11月末	10,004	△0.0	-
(期末)2022年12月9日	10,004	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】
 期首：10,007円 期末：10,004円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用	-
合計	-

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2022年12月9日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
コール・ローン等、その他	千円 159,157,999	% 100.0
投資信託財産総額	159,157,999	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	159,157,999,197円
コール・ローン等	159,157,999,197
(B) 負債	—
(C) 純資産総額(A - B)	159,157,999,197
元本	159,095,941,234
次期繰越損益金	62,057,963
(D) 受益権総口数	159,095,941,234口
1万口当り基準価額(C/D)	10,004円

*期首における元本額は147,676,216,454円、当作成期間中における追加設定元本額は146,804,060,770円、同解約元本額は135,384,335,990円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック	947,268円
ダイワ/ミレーアセット・インド株式ファンド - インドの匠	29,910,270円
ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジあり)	998円
ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジなし)	998円
US短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型)	102,434円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック (為替ヘッジあり)	39,849円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型)	3,985円
-ロボテック (年1回) (為替ヘッジあり)	
iFreeレバレッジ S & P500	10,791,948,720円
iFreeレバレッジ NASDAQ100	75,953,937,119円
クリーンテック株式ファンド (資産成長型)	998,802円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック (毎月決算/予想分配金提示型)	999円
世界インフラ戦略ファンド (為替ヘッジなし/毎月分配型)	1,000円
世界インフラ戦略ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型)	499,501円
ダイワ上場投信-日経平均レバレッジ・インデックス	4,236,015,061円
ダイワ上場投信-日経平均ダブルインバース・インデックス	6,234,269,565円
ダイワ上場投信-TOP1Xレバレッジ(2倍)指数	1,010,016,980円
ダイワ上場投信-TOP1Xダブルインバース(-2倍)指数	926,363,625円
ダイワ上場投信-日経平均インバース・インデックス	7,290,053,955円
ダイワ上場投信-TOP1Xインバース(-1倍)指数	12,970,925,555円
ダイワ上場投信-JPX日経400レバレッジ・インデックス	538,317,221円
ダイワ上場投信-JPX日経400インバース・インデックス	151,994,519円
ダイワ上場投信-JPX日経400ダブルインバース・インデックス	107,919,373円
ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-07	997円
ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-10	997円
先進国トータルリターン戦略ファンド (リスク抑制型/適格機関投資家専用)	207,414,601円
ダイワ日本株式ベア・ファンド (適格機関投資家専用)	45,188,231円
ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - S/Lトレード	4,992,083円
ブルベア・マネー・ポートフォリオ6	19,642,480,283円
ブル3倍日本株ポートフォリオ6	17,085,842,499円
ベア2倍日本株ポートフォリオ6	1,818,361,471円
ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ	42,615,540円
ダイワUS短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型)	9,957円
ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジあり)	997円
ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジなし)	997円
ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり)	997円
ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし)	997円
ダイワ/ミレーアセット亜細亜株式ファンド	4,148円
通貨選択型ダイワ/ミレーアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) 米ドル・コース	10,833円
通貨選択型ダイワ/ミレーアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) ブラジル・リアル・コース	10,788円
通貨選択型ダイワ/ミレーアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) 通貨セレクト・コース	12,751円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回)	100,588円
ダイワ/ミレーアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド	5,813円
ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型)	398,764円
ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 豪ドル・コース (毎月分配型)	99,691円
ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	398,764円
ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 米ドル・コース (毎月分配型)	398,764円

ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	15,402円
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイ2 - 予想分配金提示型 日本円・コース	300,273円
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイ2 - 予想分配金提示型 豪ドル・コース	200,861円
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイ2 - 予想分配金提示型 ブラジル・リアル・コース	300,273円
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイ2 - 予想分配金提示型 米ドル・コース	1,999,177円
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイ2 - 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース	505,900円

*当期末の計算口数当りの純資産額は10,004円です。

■損益の状況

当期 自2021年12月10日 至2022年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 48,809,986円
支払利息	△ 48,809,986
(B) 当期損益金(A)	△ 48,809,986
(C) 前期繰越損益金	101,772,030
(D) 解約差損益金	△ 77,894,524
(E) 追加信託差損益金	86,990,443
(F) 合計(B + C + D + E)	62,057,963
次期繰越損益金(F)	62,057,963

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	約10年（2025年9月11日まで）	
運用方針	アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド（以下、「マザーファンド」）の受益証券を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券
	マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）および株式関連証券
ベビーファンドの運用方法	<ol style="list-style-type: none"> 主として、マザーファンドの受益証券に投資することにより、信託財産の成長を目指して運用を行います。 マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位に維持します。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。 	
マザーファンドの運用方法	<ol style="list-style-type: none"> 技術革新が進展することで、ロボットおよび自動システムならびにセンサーシステムが産業プロセス、交通、ヘルスケアおよびコンシューマー向けアプリケーションに、より一層統合されることを目指す分野に着目し、世界中の主としてロボット関連および自動システムに関する調査、開発、デザインおよび製作に従事する企業に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。 ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行うことを基本とします。 <ol style="list-style-type: none"> 日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式から、ロボット・テクノロジーに関連する成長テーマを特定し、金融・経済情勢などを勘案することで長期にわたり成長の可能性を有する企業群を投資対象銘柄とします。 投資対象銘柄の中から、中長期的にロボット関連事業が業績に対して大きな影響を有することが期待される企業に着目し、高度な技術力、強力な経営陣、価格決定力および業績上修正の可能性などを考慮することで、組入候補銘柄を選定します。 選定した組入候補銘柄から、アクサ・インベストメント・マネージャーズの企業調査機能などを活用し、中長期的な業績拡大によって株価上昇が見込まれる銘柄を選択します。また、株価の上昇期待度、下落の余地やバリュエーションなどを考慮して組入比率を決定し、ポートフォリオを構築します。 株式および株式関連証券の組入比率は、原則として高位に維持します。 運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。 	
組入制限	当ファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
配分方針	毎決算時に原則として以下の方針に基づき配分を行います。	
	①配分対象額の範囲は繰越分を含めた利子、配当等収益と売買益（繰越欠損補填後、評価損益を含む）等の金額とします。	
	②配分金額は委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。基準価額水準、市況動向等によっては配分を行わないこともあります。将来の配分金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。	
③留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。		

アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式ファンド (為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)

追加型投信／海外／株式

運用報告書（全体版）

第14期（決算日 2023年2月13日）

受益者の皆様へ

平素は格別のお引き立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」は、このたび第14期の決算を行いました。当ファンドは、アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンドの受益証券を通じて、日本を含む世界のロボット関連株式に投資することにより、信託財産の成長を目指します。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

引き続き一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
東京都港区白金1-17-3 NBFプラチナタワー14階
<http://www.axa-im.co.jp/>

《当運用報告書の記載内容に関する問い合わせ先》
電話番号：03-5447-3160
受付時間：9：00～17：00(土日祭日を除く)

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額		株組入比率	純資産額
		税金 分	騰落率		
	円	円	%	%	百万円
10期末(2021年2月15日)	25,788	0	31.6	96.9	282,277
11期末(2021年8月13日)	26,697	0	3.5	97.8	282,651
12期末(2022年2月14日)	25,273	0	△ 5.3	97.1	256,918
13期末(2022年8月15日)	26,053	0	3.1	95.5	268,374
14期末(2023年2月13日)	25,522	0	△ 2.0	95.4	252,709

(注1) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期中の基準価額の推移

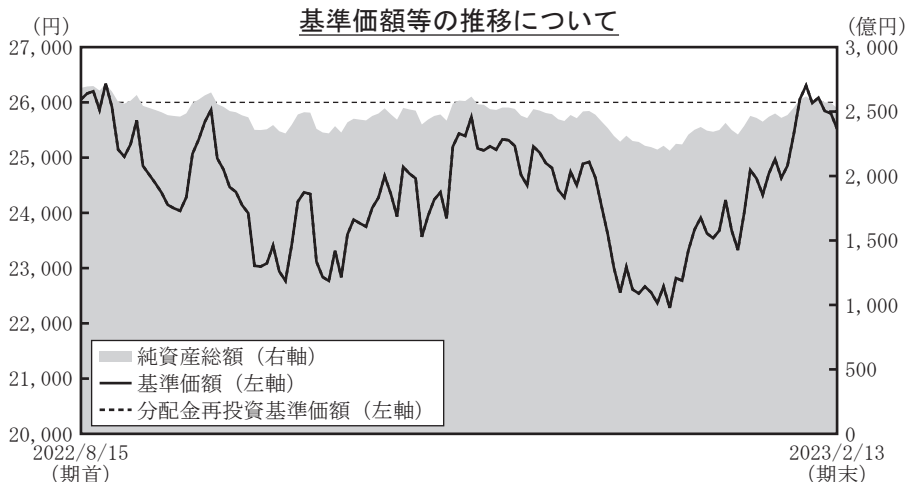
年月日	基準価額	標準価額		株組入比率
		騰落率	騰落率	
(期首) 2022年8月15日	円 26,053	% -	% 95.5	% 95.5
8月末	24,537	△ 5.8	94.8	94.8
9月末	22,940	△ 11.9	94.6	94.6
10月末	24,832	△ 4.7	96.9	96.9
11月末	24,496	△ 6.0	95.4	95.4
12月末	22,667	△ 13.0	95.2	95.2
2023年1月末	24,632	△ 5.5	94.9	94.9
(期末) 2023年2月13日	25,522	△ 2.0	95.4	95.4

(注1) 基準価額は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み、騰落率は期首比です。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期の運用状況（2022年8月16日～2023年2月13日）



期 首：26,053円
 期 末：25,522円（既払分配金（税込み）：0円）
 騰 落 率：△2.0%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

当期は、主に米国や日本の保有銘柄の株価が下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

【投資環境について】

○グローバル株式市場

当期のグローバル株式市場は、期初よりエネルギー価格上昇や幅広い物価上昇による消費減退懸念からマクロ経済の先行きに対する不透明感が市場のセンチメントを支配し、株価は下落しました。9月も米連邦準備制度理事会（FRB）が6月、7月に続いて3回連続で0.75%の大幅利上げを実施したことを受けて、引き続き下落しました。10月に入ると一転して株価は反発し、当ファンドは市場全体とほぼ同等のパフォーマンスとなり、中でもヘルスケア関連の組入銘柄が堅調でした。11月も引き続き株価は上昇し、7～9月期の企業決算では、市場全体では約50%の企業がアナリストの業績予想を上回ったのに対し、当ファンドの組入銘柄については75%超の企業がアナリスト予想を上回り、業績好調であることが確認できました。12月に入ると前月の上昇から反転して下落しましたが、2023年に入ると中国の経済再開が急速に進み景気回復への期待が高まったことや、欧米経済のソフトランディング（安定成長への移行）への可能性が高まっていることを示すデータが相次いだことで株式市場は活気づき1月、2月ともに再び上昇基調になりました。しかしながら、期を通しては下落となりました。

○為替市場

為替市場では、米ドル・円レートは期初の132円台から期末には131円台となり、ユーロ・円レートは期初の136円台から期末には140円台となりました。

当期は、米ドルはインフレのピークアウト観測を背景に米長期金利が低下したことや、日銀金融緩和政策の修正観測から円高が進行し、ユーロは欧州中央銀行（ECB）による利上げ継続観測や域内のエネルギー不足が大きく後退したことで景気への懸念が後退しユーロ高が進行しました。

【ポートフォリオについて】

○当ファンド

主要投資対象である「アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れました。

○アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場の様々なロボット関連産業の企業に投資を行い、信託財産の成長を目指しました。具体的には、ロボット関連産業、製造業・運輸・ヘルスケアなどの分野で自動化を行う企業、これらの企業の技術を支える半導体企業やソフトウェア企業などの銘柄を組み入れました。企業規模の面ではアマゾン・ドット・コムやキーエンスのような大型株からシリコン・ラボラトリーズやグローバス・メディカルなどの中小型株にも幅広く投資しています。地域別ではロボット関連産業の技術革新において先進的な地域である米国、日本を中心に投資をしています。

期中は、株価が割安な水準にあった日本の資本財企業で産業自動化ビジネスに強みを持つ三菱電機や倉庫自動化ソリューションを提供する米国のゼブラ・テクノロジーズを新規に組み入れました。また、12月の下落局面を捉えて、高性能半導体大手のエヌビディアを買い増しました。一方で、ジョンソン・エンド・ジョンソンにより約50%のプレミアム（発表前の株価対比）で買収されると発表されたのを受けてヘルステック企業アビオメッドを全売却しました。

【当ファンドのベンチマークの差異】

当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ファンダメンタル・リサーチに基づくボトムアップの銘柄選定にフォーカスした運用を行います。従って、運用目標となるベンチマークを設けておりません。

【分配金】

当期は、基準価額の水準等を勘案し、収益の分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用いたします。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

		第14期
		2022年8月16日～2023年2月13日
当期分配金		—
	（対基準価額比率）	—%
	当期の収益	—
	当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額		16,781

（注1）「当期の収益」は「費用控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備設立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

（注2）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注3）「当期の収益」および「当期の収益以外」の算出に当たっては、1万口当たりで小数点以下を切捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

○当ファンド

主要投資対象である「アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れる方針です。

○アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場の様々なロボット関連産業の企業に投資を行います。

「作る」では、ロボット産業におけるリーディング・カンパニーに加え、製造工程を監視制御するシステムを開発する企業などに注目しています。「運ぶ」では、自動運転技術を可能とするソフトウェアや半導体企業に注目しています。「助ける・守る」では、ロボット外科手術などを手掛ける企業などに注目しています。

グローバル経済では、エネルギーおよび原材料価格の高騰などを背景としたインフレ圧力の高まりが、企業業績や家計の圧迫要因となっています。この難しいマクロ経済環境において、一部の企業の株価はすでに大幅下落し、バリュエーションは魅力的な水準になっています。運用チームでは、短期的には先行き不透明感があるものの、当ファンドにおける投資テーマの長期的な成長性は引き続き強固であると考えており、今後も、将来的な成長期待の高いロボット関連産業の企業に投資を行うことで中長期的な信託財産の成長を目指します。

■1万口当たりの費用明細（2022年8月16日～2023年2月13日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	70円	0.288%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は24,357円です。
（投 信 会 社）	(67)	(0.274)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
（販 売 会 社）	(1)	(0.003)	販売会社分は、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(3)	(0.011)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売 買 委 託 手 数 料	1	0.005	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(1)	(0.005)	
そ の 他 費 用	2	0.007	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(2)	(0.007)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	73	0.300	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況（2022年8月16日～2023年2月13日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド	1,762,836	3,560,000	6,871,319	14,177,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買比率（2022年8月16日～2023年2月13日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	46,101,557千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	241,899,643千円
(c) 売 買 高 比 率(a)/(b)	0.19

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2022年8月16日～2023年2月13日）

期中の利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2022年8月16日～2023年2月13日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2023年2月13日現在）

親投資信託残高

種 類	期 首 (前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド	122,167,308	117,058,825	252,601,239

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

（2023年2月13日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド	252,601,239	99.2
コール・ローン等、その他	2,057,340	0.8
投資信託財産総額	254,658,579	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建て資産（222,412,847千円）の投資信託財産総額（267,853,794千円）に対する比率は、83.0%です。

（注3）外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=131.78円、1台湾ドル=4.372円、1英ポンド=158.77円、1ノルウェークローネ=12.98円、1ユーロ=140.66円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2023年2月13日現在）

項 目	当 期 末
(A) 資 産	254,658,579,473円
コール・ローン等	107,340,434
アクサ IM・グローバル・ ロボット関連株式マザーファンド(評価額)	252,601,239,039
未 収 入 金	1,950,000,000
(B) 負 債	1,948,718,188
未 払 解 約 金	1,239,999,999
未 払 信 託 報 酬	708,122,678
そ の 他 未 払 費 用	595,511
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	252,709,861,285
元 本	99,017,873,025
次 期 繰 越 損 益 金	153,691,988,260
(D) 受 益 権 総 口 数	99,017,873,025口
1万口当たり基準価額(C/D)	25.5222円

1. 期首元本額 103,008,944,345円
 期中追加設定元本額 1,616,261,047円
 期中一部解約元本額 5,607,332,367円
 2. 1口当たり純資産額 2.5222円

■損益の状況

当期（自 2022年8月16日 至 2023年2月13日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 48,992円
受 取 利 息	1,507
支 払 利 息	△ 50,499
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 4,143,816,720
売 買 益	939,211,869
売 買 損	△ 5,083,028,589
(C) 信 託 報 酬 等	△ 708,719,505
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 4,852,585,217
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	109,391,069,099
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	49,153,504,378
(配 当 等 相 当 額)	(49,840,797,784)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 687,293,406)
(G) 計 (D+E+F)	153,691,988,260
次 期 繰 越 損 益 金(G)	153,691,988,260
追 加 信 託 差 損 益 金	49,153,504,378
(配 当 等 相 当 額)	(49,842,135,319)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 688,630,941)
分 配 準 備 積 立 金	116,327,636,613
繰 越 損 益 金	△ 11,789,152,731

（注1）損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

（注2）損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

（注3）損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注4）計算期間末における費用控除後の配当等収益（156,570,379円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（49,842,135,319円）および分配準備積立金（116,171,066,234円）より分配対象収益は166,169,771,932円（10,000口当たり16,781.80円）ですが、当期に分配した金額はありません。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）および株式関連証券
運用方法	<ol style="list-style-type: none"> 技術革新が進展することで、ロボットおよび自動システムならびにセンサーシステムが産業プロセス、交通、ヘルスケアおよびコンシューマー向けアプリケーションに、より一層統合されることを目指す分野に着目し、世界中の主としてロボット関連および自動システムに関する調査、開発、デザインおよび製作に従事する企業に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。 ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行うことを基本とします。 <ol style="list-style-type: none"> 日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式から、ロボット・テクノロジーに関連する成長テーマを特定し、金融・経済情勢などを勘案することで長期にわたり成長の可能性を有する企業群を投資対象銘柄とします。 投資対象銘柄の中から、中長期的にロボット関連事業が業績に対して大きな影響を有することが期待される企業に着目し、高度な技術力、強力な経営陣、価格決定力および業績上方修正の可能性などを考慮することで、組入候補銘柄を選定します。 選定した組入候補銘柄から、アクサ・インベストメント・マネージャーズの企業調査機能などを活用し、中長期的な業績拡大によって株価上昇が見込まれる銘柄を選択します。また、株価の上昇期待度、下落の余地やバリュエーションなどを考慮して組入比率を決定し、ポートフォリオを構築します。 株式および株式関連証券の組入比率は、原則として高位に維持します。 運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。
株式組入制限	無制限

アクサ IM・グローバル・ ロボット関連株式マザーファンド

運用報告書

第7期（決算日：2022年8月15日）

（計算期間 2021年8月14日～2022年8月15日）

■最近5期の運用実績

決算期	基準 額	騰落率		株組 入比率	純資 産額
		期騰	中率		
	円		%	%	百万円
3期末(2018年8月13日)	11,852		17.0	98.6	436,627
4期末(2019年8月13日)	11,155	△	5.9	98.6	298,397
5期末(2020年8月13日)	16,315		46.3	97.0	262,542
6期末(2021年8月13日)	22,368		37.1	97.9	299,321
7期末(2022年8月15日)	21,962	△	1.8	95.5	281,351

(注1) 基準価額は1万円当たり。

(注2) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

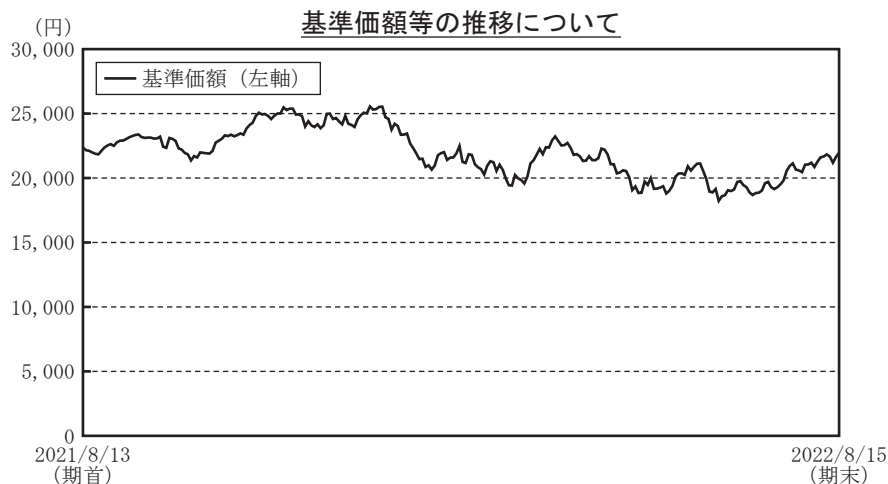
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基準 額	騰落率		株組 入比率
		騰	落率	
(期首) 2021年8月13日	円 22,368		% —	% 97.9
8月末	22,899		2.4	97.0
9月末	22,203	△	0.7	96.4
10月末	23,845		6.6	97.2
11月末	24,407		9.1	97.4
12月末	25,350		13.3	97.7
2022年1月末	20,976	△	6.2	96.7
2月末	21,302	△	4.8	97.4
3月末	22,879		2.3	95.9
4月末	20,427	△	8.7	95.3
5月末	20,349	△	9.0	96.3
6月末	19,289	△	13.8	95.2
7月末	21,051	△	5.9	95.8
(期末) 2022年8月15日	21,962	△	1.8	95.5

(注1) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期の運用状況（2021年8月14日～2022年8月15日）



【基準価額の主な変動要因】

当期は、米国を中心に保有銘柄の株価が全般的に下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

【投資環境について】

○グローバル株式市場

当期のグローバル株式市場は、下落しました。期初は2021年年初からの堅調な流れを受けて株価は上昇しましたが、9月になると各国主要中央銀行によるテーバリング（量的緩和の縮小）や中国の不動産大手恒大集団の経営不振を巡る問題などを背景に下落しました。さらに11月に南アフリカで新たに確認された新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の変異株「オミクロン株」や高まるインフレ懸念から月末にかけて下落しました。12月になると株価は上昇し、年間を通して大幅な上昇を記録して1年を終えました。2022年入ると2月にロシアのプーチン大統領がウクライナで「特別軍事作戦」実施を表明したことで、地政学的リスクの高まりとエネルギー価格高騰やインフレ圧力が懸念され、株価は下落しました。4月以降も中国の新型コロナウイルス感染症に対するロックダウン（都市封鎖）や行動制限の強化が世界のサプライチェーン混乱による供給不足を一層深刻にさせ、株式市場を左右する展開になりました。一方で、長引くインフレに対処するため主要中央銀行が金融政策正常化で足並みをそろえ始め、米連邦準備理事会（FRB）が5月に50bps、6月、7月に75bpsの政策金利引き上げを決定し、欧州中央銀行（ECB）が7月後半に開いた理事会で50bpsの政策金利引き上げを決定しました。

○為替市場

為替市場では、米ドル・円レートは期初の110円台から期末には132円台となり、ユーロ・円レートは期初の129円台から期末には136円台となりました。

当期は、米ドルは国内景気回復の継続や長期金利の上昇を背景に、また、欧米共にそれぞれ欧州中央銀行（ECB）と米国連邦準備理事会（FRB）が金融政策正常化を掲げたことに対して日銀は金融緩和政策の維持を決定し、双方の金融政策方向性の違いなどから米ドル・ユーロに対して円安が進行しました。

【ポートフォリオについて】

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場の様々なロボット関連産業の企業に投資を行い、信託財産の成長を目指しました。具体的には、ロボット関連産業、製造業・運輸・ヘルスケアなどの分野で自動化を行う企業、これらの企業の技術を下支えする半導体企業やソフトウェア企業などの銘柄を組み入れました。企業規模の面ではアマゾン・ドット・コムやキーエンスのような大型株からシリコン・ラボラトリーズやマレルなどの中小型株にも幅広く投資しています。地域別ではロボット関連産業の技術革新において先進的な地域である米国、日本を中心に投資をしています。

期中は、新規上場したノルウェーのオートストア、イスラエルのコーニット・デジタルや米国の糖尿病患者向けインスリンポンプを製造するタンデム・ダイアベティス・ケアを新規に組み入れました。また、2022年1月には市場が下落した局面を捉えて半導体のウルフスピード、3Dセンサーを提供するルメントム・ホールディングスなど、多くの組入銘柄の買い増しを行いました。顧客の多くが政府関連機関から資金調達しているため、マクロ経済環境が弱含む中において安全性が高い顧客基盤を有していると考えられる米国のソフトウェア企業のベントレー・システムズや株価が魅力的な水準となった日本の自動化関連銘柄のナブテスコの買い増しも行いました。一方で、アップルやテキサス・インスツルメンツなど年初来で株価が比較的持ちこたえていた組入銘柄を一部売却しました。

【当ファンドのベンチマークとの差異】

当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ファンダメンタル・リサーチに基づくボトムアップの銘柄選定にフォーカスした運用を行います。従って、運用目標となるベンチマークを設けておりません。

【今後の運用方針】

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場の様々なロボット関連産業の企業に投資を行います。

「作る」では、ロボット産業におけるリーディング・カンパニーに加え、製造工程を監視制御するシステムを開発する企業などに注目しています。「運ぶ」では、自動運転技術を可能とするソフトウェアや半導体企業に注目しています。「助ける・守る」では、ロボット外科手術などを手掛ける企業などに注目しています。

グローバル経済では、エネルギーおよび原材料価格の高騰などを背景としたインフレ圧力の高まりが、企業業績や家計の圧迫要因となっています。この難しいマクロ経済環境において、一部の企業の株価はすでに大幅下落し、バリュエーションは魅力的な水準になっています。運用チームでは、短期的には先行き不透明感があるものの、当ファンドにおける投資テーマの長期的な成長性は引き続き強固であると考えており、今後も、将来的な成長期待の高いロボット関連産業の企業に投資を行うことで中長期的な信託財産の成長を目指します。

■ 1万口当たりの費用明細 (2021年8月14日～2022年8月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	4円 (4)	0.017% (0.017)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
そ の 他 費 用 (そ の 他)	19 (19)	0.087 (0.087)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
合 計	23	0.104	

(注1) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。期中の平均基準価額は21,938円です。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況 (2021年8月14日～2022年8月15日)

株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	日 本	千株 607	千円 7,294,173	千株 398	千円 5,445,403
	外	百株 29,218 (15,869)	千米ドル 322,336 (△23,590)	百株 43,133	千米ドル 478,129
国	台 湾	3,750	千台湾ドル 219,381	3,170	千台湾ドル 194,731
	イ ギ リ ス	3,802	千英ポンド 5,915	2,308	千英ポンド 5,709
	ノ ル ウ ェ ー	57,504	千ノルウェークローネ 166,380	208	千ノルウェークローネ 727
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	フ ラ ン ス	232	3,349	346	5,334
	ド イ ツ	3,152	24,199	12,604	32,710
	そ の 他	1,300	608	8,092	5,189

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) ()内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合 (2021年8月14日～2022年8月15日)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	121,587,027千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	273,797,512千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	0.44

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄 (2021年8月14日～2022年8月15日)

買		付		売		付	
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
KORNIT DIGITAL LTD	281	4,569,526	16,223	PTC INC	521	6,778,495	12,994
ALIGN TECHNOLOGY INC	46	2,994,872	63,815	IPG PHOTONICS CORP	272	3,904,203	14,324
BENTLEY SYSTEMS INC-CLASS B	563	2,634,904	4,678	TEXAS INSTRUMENTS INC	175	3,879,899	22,111
INTUITIVE SURGICAL INC	67	2,401,659	35,684	ZIMMER BIOMET HOLDINGS INC	186	2,670,005	14,316
COGNEX CORP	273	2,326,455	8,490	QUIDEL CORP	172	2,436,833	14,120
AUTOSTORE HOLDINGS LTD-W/I	5,750	2,251,264	391	ALIGN TECHNOLOGY INC	64	2,371,696	36,566
SIEMENS AG	124	2,195,574	17,656	CADENCE DESIGN SYS INC	107	2,347,419	21,868
ファナック	93	2,178,220	23,296	APPLE INC.	114	2,223,887	19,416
キーエンス	27	1,703,535	61,058	INTUITIVE SURGICAL INC	19	2,218,067	111,214
AUTODESK INC	52	1,667,936	31,798	TERADYNE INC	155	2,170,211	13,959

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等 (2021年8月14日～2022年8月15日)

期中の利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況 (2021年8月14日～2022年8月15日)

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細 (2022年8月15日現在)

(1) 国内株式

銘柄	前期末	当期末	
	株数	評価額	金額
	千株	千株	千円
機械 (31.3%)			
ナブテスコ	770	903	3,134,798
SMC	78	76	5,281,340
ダイフク	508	521	4,497,916
電気機器 (68.7%)			
安川電機	858	825	4,070,701
日本電産	327	315	3,129,037
オムロン	431	472	3,726,291
キーエンス	151	161	9,294,516
ファナック	268	327	8,125,362
合計	株数・金額	3,395	3,604
	銘柄数<比率>	8	8
			<14.7%>

(注1) 銘柄欄の()内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2) 合計欄の< >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 単位未満は切捨て。

(2) 外国株式

銘柄	前期末		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額 千米ドル	邦貨換算金額 千円	
(アメリカ)	百株	百株			
NXP SEMICONDUCTORS NV	2,547	2,450	45,934	6,107,855	半導体・半導体製造装置
KORNIT DIGITAL LTD	—	2,802	9,879	1,313,637	資本財
ABIOMED INC	823	792	23,253	3,091,979	ヘルスケア機器・サービス
ACCELERATE DIAGNOSTICS INC	6,167	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
ADVANCED MICRO DEVICES	4,876	4,689	47,284	6,287,424	半導体・半導体製造装置
APTIV PLC	3,665	3,525	39,283	5,223,590	自動車・自動車部品
ALIGN TECHNOLOGY INC	179	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
ALPHABET INC-CL C	294	5,296	64,962	8,638,103	メディア・娯楽
AMAZON.COM INC.	208	4,391	63,032	8,381,472	小売
ANSYS INC	1,262	1,214	34,555	4,594,785	ソフトウェア・サービス
APPLE INC.	3,588	2,717	46,763	6,218,123	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ASPEN TECHNOLOGY INC	2,047	—	—	—	ソフトウェア・サービス
AUTODESK INC	2,151	2,422	56,443	7,505,249	ソフトウェア・サービス
AXONICS MODULATION TECHNOLOG	6,785	6,112	44,244	5,883,241	ヘルスケア機器・サービス
BENTLEY SYSTEMS INC-CLASS B	—	5,631	23,179	3,082,145	ソフトウェア・サービス
CADENCE DESIGN SYS INC	3,865	3,095	58,447	7,771,778	ソフトウェア・サービス
COGNEX CORP	5,546	7,629	36,787	4,891,578	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
CONMED CORP	2,838	2,729	28,153	3,743,605	ヘルスケア機器・サービス
ALTAIR ENGINEERING INC - A	3,838	4,315	24,342	3,236,821	ソフトウェア・サービス
CREE INC	2,496	—	—	—	半導体・半導体製造装置
DEXCOM INC	1,636	6,013	54,015	7,182,488	ヘルスケア機器・サービス
ASPEN TECHNOLOGY INC	—	772	16,710	2,222,024	ソフトウェア・サービス
GXO LOGISTICS INC	1,880	2,455	12,216	1,624,385	運輸
GLOBUS MEDICAL INC-A	4,679	5,023	33,491	4,453,352	ヘルスケア機器・サービス
IPG PHOTONICS CORP	2,583	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ILLUMINA INC	739	711	14,823	1,971,090	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INTUITIVE SURGICAL INC	885	2,838	67,671	8,998,289	ヘルスケア機器・サービス
LUMENTUM HOLDINGS INC	2,338	2,548	24,026	3,194,766	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
MICROCHIP TECHNOLOGY INC	2,645	5,519	40,686	5,410,125	半導体・半導体製造装置
NOVANTA INC	2,119	2,038	30,832	4,099,821	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
NVIDIA CORP	3,005	2,551	47,727	6,346,363	半導体・半導体製造装置
ON SEMICONDUCTOR CORPORATION	8,360	7,677	54,633	7,264,628	半導体・半導体製造装置
PTC INC	5,111	—	—	—	ソフトウェア・サービス
QUALCOMM INC	5,325	5,246	79,377	10,554,782	半導体・半導体製造装置
QUIDEL CORP	1,635	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
SILICON LABORATORIES INC	4,518	4,345	63,812	8,485,116	半導体・半導体製造装置
TANDEM DIABETES CARE INC	—	983	5,297	704,465	ヘルスケア機器・サービス
TERADYNE INC	6,065	5,224	54,510	7,248,323	半導体・半導体製造装置
TESLA, INC.	—	71	6,395	850,361	自動車・自動車部品
TEXAS INSTRUMENTS INC	2,705	1,142	21,176	2,815,865	半導体・半導体製造装置
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	1,035	995	60,071	7,987,676	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
TRIMBLE INC	6,820	6,559	47,056	6,257,111	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
VIAVI SOLUTIONS INC	14,618	11,183	17,334	2,305,001	テクノロジー・ハードウェアおよび機器

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千円	千円		
WOLFSPEED INC	—	2,628	23,699	3,151,279	半導体・半導体製造装置	
ZIMMER BIOMET HOLDINGS INC	1,767	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス	
AMBARELLA INC	2,794	2,833	25,996	3,456,820	半導体・半導体製造装置	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	136,459	139,178	1,448,112	192,555,530	
		40	38	—	<68.4%>	
(台湾)			千台湾ドル			
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING		27,050	27,630	1,428,471	6,332,840	半導体・半導体製造装置
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	27,050	27,630	1,428,471	6,332,840	
		1	1	—	<2.3%>	
(イギリス)			千英ポンド			
OCADO GROUP PLC		14,978	16,657	15,464	2,498,274	食品・生活必需品小売り
AVEVA GROUP PLC		4,809	4,625	11,341	1,832,152	ソフトウェア・サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	19,788	21,282	26,805	4,330,427	
		2	2	—	<1.5%>	
(ノルウェー)			千ノルウェー クローネ			
AUTOSTORE HOLDINGS LTD-W/I		—	57,296	95,111	1,323,000	資本財
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	—	57,296	95,111	1,323,000	
		—	1	—	<0.5%>	
(フランス)			千ユーロ			
SCHNEIDER ELECTRIC SE		2,966	2,852	38,551	5,261,915	資本財
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,966	2,852	38,551	5,261,915	
		1	1	—	<1.9%>	
(ドイツ)			千ユーロ			
SIEMENS AG		3,814	4,611	51,574	7,039,443	資本財
INFINEON TECHNOLOGIES AG		13,208	12,702	34,894	4,762,691	半導体・半導体製造装置
KION GROUP AG		5,187	4,989	21,952	2,996,330	資本財
TEAMVIEWER AG		9,544	—	—	—	ソフトウェア・サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	31,755	22,303	108,421	14,798,465	
		4	3	—	<5.3%>	
(その他)			千ユーロ			
MAREL HF		60,243	53,451	21,487	2,932,835	資本財
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	60,243	53,451	21,487	2,932,835	
		1	1	—	<1.0%>	
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	94,965	78,607	168,460	22,993,216	
		6	5	—	<8.2%>	
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	278,263	323,994	—	227,535,016	
		49	47	—	<80.9%>	

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 小計欄の< >内は純資産総額に対する各通貨別評価額の比率。

(注3) 合計欄の< >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注4) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2022年8月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	268,794,977	95.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	13,406,752	4.8
投 資 信 託 財 産 総 額	282,201,729	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 期末における外貨建て資産(239,319,125千円)の投資信託財産総額(282,201,729千円)に対する比率は、84.8%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=132.97円、1台湾ドル=4.433円、1英ポンド=161.55円、1ノルウェークローネ=13.91円、1ユーロ=136.49円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年8月15日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	284,860,935,609円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	13,351,224,135
株 式(評価額)	268,794,977,540
未 収 入 金	2,663,780,000
未 収 配 当 金	50,953,934
(B) 負 債	3,509,206,000
未 払 金	2,659,206,000
未 払 解 約 金	850,000,000
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	281,351,729,609
元 本	128,106,556,944
次 期 繰 越 損 益 金	153,245,172,665
(D) 受 益 権 総 口 数	128,106,556,944口
1万口当たり基準価額(C/D)	21,962円

1. 期首元本額	133,817,306,053円
期中追加設定元本額	11,563,519,321円
期中一部解約元本額	17,274,268,430円
2. 1口当たりの純資産額	2,1962円
3. 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額	
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	122,167,308,879円
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)	5,939,248,065円
期末元本合計	128,106,556,944円

■損益の状況

(2021年8月14日～2022年8月15日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	1,513,146,525円
受 取 配 当 金	1,497,364,980
受 取 利 息	17,936,355
支 払 利 息	△ 2,154,810
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 5,315,644,917
売 買 益	56,185,028,133
売 買 損	△ 61,500,673,050
(C) そ の 他 費 用	△ 44,856,431
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 3,847,354,823
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	165,503,778,379
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 22,627,731,570
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	14,216,480,679
(H) 計 (D+E+F+G)	153,245,172,665
次 期 繰 越 損 益 金(H)	153,245,172,665

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。